

# 斎藤恵子 フラメンコ リサイタル

— 源流 —

2023

10月29日[日]

開場 12:00 開演 13:00

[バイレ] 斎藤 恵子  
[カンテ] 石塚 隆充  
[ギター] 江戸 裕  
[パルマ] 三枝 雄輔

[友情出演]

渡部 純子 (バイレ)  
大沼 由紀 (バイレ)

[特別ゲスト]

佐藤 佑子 (バイレ)  
エンリケ 坂井 (ギター・カンテ)

会場 ガルロチ  
(伊勢丹会館6階)

[全席指定]

S席 10,000円  
A席 8,500円  
B席 7,000円



# 斎藤恵子フラメンコリサイタル — 源流 —



斎藤 恵子  
バイレ

6歳からフラメンコ舞踊を佐藤佑子に学ぶ。日本女子体育短期大学舞踊専攻卒業後、舞踊家としての道を歩み始める。2001年スペイン・セビージャに留学し、コンチャ・バルガスをはじめ数多くの舞踊家に学ぶ。2004年2月コンチャ・バルガスをゲストに迎え帰国リサイタルを行う。2007年日本フラメンコ協会第16回新人公演バイレ・ソロ部門で奨励賞を受賞。現在、教室を開講をしながらライブ活動を行っている。



佐藤 佑子  
バイレ [特別ゲスト]

1970～77年スペイン滞在。フラメンコの巨匠エンリケ・エル・コホをはじめ多くの優れたアーティストに教えを受けると同時に、アンダルシアのタブラオ、マドリードのタブラオに長期レギュラー出演し「ジブシーのような日本人」呼ばれ親しまれた。帰国後、「池袋スタジオ・カスコーロ」を設立、後進の指導にあたる。東京駅コンサートではラファエル・ロメロ、ペリーコ・デル・ルナーらと共演。1988年、セビリアより招かれてビエナル音楽祭でソロ出演、好評を得る。1992～98年、「フラメンコの深淵」公演を催した。



エンリケ 坂井  
ギター・カンテ [特別ゲスト]

岐阜県出身。16才よりフラメンコギターを志し1972年渡西、マドリードのタブラオに長期出演、イタリア演奏旅行、ソロコンサート、TV出演などを経て1977年帰国。スペインより一流アーティストを招いてコンサートを催す。1988年セビリア市より招かれてビエナル音楽祭に出演。カンテの普及にも力を注ぎ「フラメンコを歌おう」Vol.1,2をパセオより出版。CD「フラメンコの深い炎 No.1,2,3」および「グランクロニカ・デル・カンテ No.1～32」を制作。現在東京を中心にギタリスト、及びカンタオールとして活動している。



渡部 純子  
バイレ [友情出演]

立教大学2年の時にフラメンコと出会い、佐藤佑子先生に師事。1987年フラメンコ留学のため渡西し、1992年にバルセロナの老舗タブラオ「ロス・タラントス」にてデビューし、12年レギュラーで踊り観客を魅了。フラメンコの本場スペインにて活躍する日本人として注目され、日本のTV界でも多数取り上げられている。2008年に20年ぶりに帰国を果たし、現在宇都宮市内にてスタジオ「ラ・プレリア」を主宰。東京他各地でライブ活動も精力的に行っている。



大沼 由紀  
バイレ [友情出演]

日本大学芸術学部音楽学科卒業後、27歳でスタジオカスコーロ入門、佐藤佑子氏に師事。その後渡西し、約2年半のスペイン生活の中で、特にヘレスのフラメンコに強く惹かれ、帰国後も短期渡西を繰り返す。ヘレスからアルティスタを招聘し、即興性に富むバイレを劇場で見せる「Espontánea～フラメンコ、自然発生的な～」は代表作。同作品で2016年芸術祭舞踊部門新人賞受賞。その後も劇場作品を発表し続けると共に、東京・博多での教授活動にも力を入れている。



石塚 隆充  
カンテ



江戸 裕  
ギター



三枝 雄輔  
バルマ

[写真] 渡辺 格 [映像] プリメラギター社 [宣伝美術] 初見 美歩 [制作] 安岡 幸江

2023 **10月29日(日)** 開場 12:00  
開演 13:00

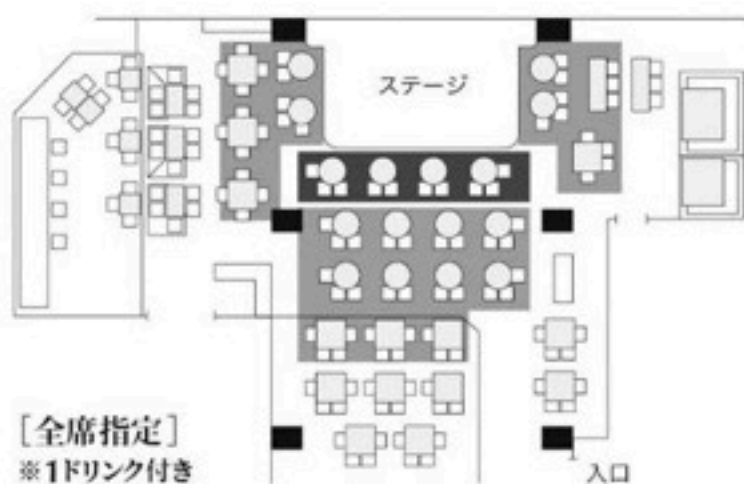
チケットお申込み・お問い合わせ

チケットお申込み **6月20日(火) 正午12:00**より  
下記メールアドレスにて受付いたします

源流公演事務局

[genryu1029@gmail.com](mailto:genryu1029@gmail.com)

## 座席・会場アクセス



- S席 10,000円 (正面1列目保証) **限定10席**
- A席 8,500円 (正面2～4列目、サイド1～2列目保証)
- B席 7,000円 (上記以外)

[会場] ガルロチ (伊勢丹会館6階)

[アクセス] JR 新宿駅 徒歩5分  
地下鉄 新宿三丁目駅 B5出口 徒歩3分

[住所] 東京都新宿区新宿3-15-17 伊勢丹会館6F